

令和4年5月9日

保護者の皆さまへ

頭部損傷についての注意とお願い

名古屋市立緑高等学校
校長 秋田 直孝

本校では、過去の市立高校で起こった痛ましい悲劇を繰り返さないためにも、脳震とうなどの頭部損傷について、十分な指導や注意喚起をしております。そこで、ぜひご家庭でも「脳震とう」について知っていただき、安心安全な学校生活につなげていけるよう、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

○そもそも「脳震とう」とは…？

脳震とうとは、頭部に衝撃を受けることによる脳の損傷であり、

- ・頭を打ったり、ゆすられたりすることで起きます。
- ・脳が正常に働かなくなることがあります。
- ・どんなスポーツの試合やスポーツでも起きます。
- ・意識を失わなくても起きます。
- ・少しふらっただけでも、重症なことがあります。

脳震とうは、その損傷を直接目で確認することができません。その症状は、受傷直後からはっきりと現れることもありますが、数日あるいは数週間たってから症状として現れたり、気づかれたりすることもあります。もし、何らかの症状が現れる、もしくは保護者の方がそのような症状にお気づきになりましたら、すぐに脳外科のある病院を受診してください。

○脳震とうの症状とは…？

[本人が訴える症状]

- ・頭が重い、痛い、割れるような感じ
- ・気分が悪い、吐き気
- ・よろめく、ふらつく
- ・ものがぼやけて見える
- ・視界がやけに明るく感じる
- ・音がやけにうるさく感じる
- ・だるい、もやもやする
- ・集中できない
- ・思い出せない、覚えられない
- ・とにかく何かおかしい

[保護者の方が気づかれる症状]

- ・ぼーっとしている、ぼんやりしている
- ・やるべきことや段取りが分かっていない
- ・何かを指示されてもすぐに忘れていく
- ・試合、点数、対戦相手が分かっていない
- ・動作が何だかぎこちない
- ・質問に対する反応がいつもより遅い
- ・(短時間でも)意識を失う
- ・行動や様子が普段と違っている
- ・受傷前後のことが曖昧、思い出せない

○ご家庭で、脳震とうかな？と思ったら

- ・すぐに脳外科のある病院で受診してください。重症度を判断してもらい、いつまで休ませるべきかを診てもらう必要があります。
- ・脳震とうの回復には時間がかかります。医師が許可をするまでは絶対にスポーツへ復帰させてはいけません。復帰が早すぎると、脳は回復しきっていませんので、次の脳震とうを起こすリスクが高くなります。2度、3度と脳震とうを繰り返すことは非常に重大な損傷につながります。また医師が許可を出したとしても、2週間は激しい運動を控えるなど、安静にしなければならないとの報告もあります。
- ・今までに、また今後も脳震とうを起こしたことがあれば、必ず学校に連絡をしてください。担任、部顧問、体育の担当等は、学校外の活動も含めて、登校段階では現在お子さんがどのような状態であるのかについて適切に知らなければなりません。

○参考として、脳震とうを判断する資料を掲載します。参考になさってください。